

# 金山病院の上手な利用法 広報げろ 2012.2

## 金山病院の上手な利用法

自分の体をよく知り、自分の健康は自分で守ることは命を守る基本です。その為に病院を効率よく有効に利用するための方策について考えてみました。

- 1) 保険証とお薬手帳は必ず持参しましょう。お薬手帳は飲み薬の重複を防ぐため、以前に服用した薬の種類を知るためなど診察時に必要な重要な情報が載せられています。受診時や薬局には必ず持っていき医師や薬剤師に見せましょう。
- 2) 仕事を優先するのはやめましょう。仕事が終わってから時間外に受診すると手当が遅れて病状が進行していたり、必要な検査が受けられなかったり、専門の医師がいなかったりします。
- 3) 時間内受診を心がけましょう。金山病院では小児科診療は時間内のみです。診療時間外には小児科医師はいませんのでよろしくお願いします。受診料は無料でもかかる費用は時間内よりも多いのです。
- 4) 医療保険を使って健康診断を受けることはできません。補助があって、病院と契約している下呂市や職場の検診以外は自費となり、医療保険は使えないので大変高額になります。ぜひ下呂市や職場が行う検診を受けてください。医療費の節約になり、健康保険を守るために法律でも禁止されています。
- 5) 他医療機関にかかるときは必ず紹介状を持っていきましょう。紹介状を持っていくと必ず返事が返されます。専門医からの情報は患者ばかりでなく医師の向上にも役立ちます。
- 6) 緊急に金山病院を受診する場合に備えてかかりつけの病院からの紹介状を持って一度は受診しておきましょう。普段はかかりつけの病院に通院していても、病病連携を大切にすることによって、いざというときに医師が戸惑うことなく適切な医療が受けられます。
- 7) 医師に伝えたいことはメモにまとめて書いて受診時医師に見せましょう。診察に時間のかかる高齢者が多い中で、診察時間の短縮に役立ちます。待ち時間を少なくするためにもご協力ください。
- 8) 待ち時間の過ごし方を工夫しましょう。少ない医師で診察しているのでどうしても待ち時間は長くなります。待ち時間をどのように過ごすかを考えておくとよいでしょう。体調の悪化などの場合は看護師に申し出てください。
- 9) 自己判断は禁物です。医師の指示を守り、薬は勝手にやめない、他人に譲らない、必要なくなったと思ったら主治医に相談しましょう。お守りのように漫然と薬を出してもらわないようにしましょう。顔を見せていただくだけで十分に主治医とのつながりが保てます。
- 10) まずは金山病院をご利用ください。皆さんの健康を守るお手伝いをする病院は安心して生活できるためにも必要なものではないでしょうか。その病院の維持費は皆さんからいただく受診料が頼りです。病院を維持するために皆さんができることは、まずは金山病院を正しくご利用いただくことです。

下呂市立金山病院 院長 古田智彦